



もちかしわざ

持柏木農業資源保全活動組織（渋川市）

- 本地区は、渋川市の東部、赤城山南西麓に位置しており、地区の東側には国道353号線が走る。周囲は基盤整備が完了している地区も多いが、本地区は基盤整備が未了のため、農事組合等、地元の農業者に支えられてきた地区でもある。
- 本活動組織は、農事組合など地元農業者を中心として、耕作放棄地の解消などを目的として令和元年度に設立された新しい組織であり、今後、周辺農地も巻き込んだ地域一体となった農地の保全が期待される。

地区の概要

平地農業地域

取組面積	12.0 ha (田 3.0 ha、畑 9.0 ha)
資源量	水路 1.0 km 農道 0.7 km
主な構成員	農業者、非農業者
交付金	約 58 万円
〔 農地維持支払 資源向上支払（長寿命化） 〕	

推薦項目

<input type="checkbox"/> 子供の参画	<input type="checkbox"/> 女性の参画
<input type="checkbox"/> 学校と連携	<input type="checkbox"/> 行政と連携
<input type="checkbox"/> 地域交流	<input checked="" type="checkbox"/> 参加率
<input type="checkbox"/> 事務に工夫	<input type="checkbox"/> 広報
<input type="checkbox"/> 環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 工事
<input checked="" type="checkbox"/> 遊休農地解消	

取組内容

- 水路・農道の除草、水路の泥上げ、遊休農地発生防止のための保全管理を実施している。
- 長寿命化の活動については、農業者の要望が反映されており、機能診断も適切である。また、全て直営施工により工夫し、実施している。

取組の効果

- 長寿命化交付金を活用し、直営施工で湧水処理を施した水田では健全な耕作が可能な状態となった。
- 地域の中で事業についての周知が出来たことで、新たに本組織に協力する地元耕作者が増えるなど、地域を巻き込んだ組織へとなりつつある。



◇水路の周りの整備作業



土水路整備



◇直営施工による対策工事

